

あなたのまちの認知症カフェ「人カフェ」



「認知症カフェ」とは、認知症にまつわる相談ができる場です。また、認知症の人やその家族、医療や介護の専門職、地域の人など、誰もが気軽に参加でき、安心して過ごせる「地域の居場所」です。泉大津市では、認知症の人やかかわっている人だけでなく、誰もが集える居場所になってほしいとの思いから、「人カフェ」と呼んでいます。

相談は無料で、飲み物代などが必要なお金もありません。お気軽にお越しください。

詳しくはこちら
(人カフェちらし)



【泉大津市内の認知症カフェ「人カフェ」】

令和7年3月現在

名称	場所・日時	連絡先
風街 花水木の会	中央商店街 第4水曜日 午前10時～正午	地域包括支援センター ☎21-0294
紅俳院ハマダ 花水木の会	東助松町4-3-41 第3水曜日13時～15時	地域包括支援センター ☎21-0294
愛の家グループホーム あびこ 花水木の会	我孫子150番地 偶数月・第2土曜日 13時30分～15時	愛の家グループホームあびこ ☎21-7150
一隅を照らす庵	戎町5-13 第3月曜日 13時30分～16時	医療法人泉清会 川端医院 ☎32-2580



そうだ！みんなで集まろう！！

4月以降も、もんとパークでラジオ体操を継続して実施します。
詳しくは地域包括支援センター荒木・藤田までお問い合わせください。
(☎0725-21-0294)



春号

発行所
泉大津市地域包括支援センター
(泉大津市社会福祉協議会)
Tel 0725-21-0294
〒595-0026 泉大津市東雲町9-15

包括だより

Ｑ. これまでの人生を振り返って
A. 子どもの頃にジフテリアにかかって死にかけた。それ以外にも二回死にかけてるけど、早く亡くなったお母さんに川の向こうから「帰り」って言われたね。24歳の時に嫁いだんやけど、それもお見合いの日と合わせて三日会っただけ。お見合いから1年後に結婚したんや。結婚してすぐは都島でお父さんの兄弟と一緒に住んでたけど、昭和35年に泉大津にきた。お父さんが一代で工場を建てて大変やったけど、何でもしていかなあかんという気でやってきた。今は息子が後を継いでくれて、私も何するってないけど毎日来てる。車の運転は82歳になるまで43年ほとんど事故なし。仕事で納品があるといったら走り、子どもの学校に届け物をするといったら走り、どこでも行ったよ。四国八十八ヶ所まわったり、高野山や石切さんにお参りしたり、誘われて御詠歌もしたなあ。

お父さんと2人交代で車を運転して秋田県にも行った。50代の頃は子育てが落ち着

元気の秘訣



東雲町 湊 久美子さん (90歳)

Ｑ. 元気の秘訣は？
A. ニイサービスで教えてもらった運動を家でしたり、朝家の周りを一八〇〇～二〇〇〇歩いたり、体を動かすことはしてる。最近寒いから外に出るのはさぼってるけど、その代わりに家でできることをしてる。自転車毎日工場に顔出ししたり、公民館でやってるヨ方は通って20年になる。週1回やけど、月に1回はランチにも行く。仲間が6人、年齢は50代から一番年の近い人で70代。出ていかなかったら、みんなが私の元気をもらわなあかんものって言って電話してくれる。友達に恵まれてると思う。だけど、甘えてばかりおったらあかん。なるべく人のお世話にならないようにしたい。あと朝ご飯をしっかり食べるようにしてる。



夫婦二人でお出かけした時↑



←結婚式当日

いた頃やったこともあるのかな、何でもした。しんどいこともあったけど、あつという間やっ



編集後記
みんなに元気を振りまいている久美子さん、第一印象は本当に90歳？椅子からの立ち座りや開脚等の動きは終始年齢を疑うばかり…。耳が聞こえにくいことが一番困るとおっしゃっていましたが、それ以上のバイタリティーでカバーされているように感じました。
ご協力ありがとうございました。

Ｑ. 若い人に一言
A. 人によって違うから難しいこともあるけど、良い友達を作るといい。何でも話ができると気持ちもすっきりするしな。

Ｑ. おじいさんと友人たちと↓
↑おじいさんと友人たちと↓

パンと生野菜、ゆで卵、ヨーグルト、甘酒牛乳とテラックスや。娘が作ってくれる野菜スープを飲むとお通じが良くなる。高麗人参も続ける。

